



オートフォーカス一眼で一世を風靡し、αショックといわれた「ミノルタα-7000」

「ハッセルブラッド」、「ライイ」が有名で、中でも「ハッセルブル」

「αショック」ともよばれた。一年後二コンを



プロニータイプのフィルム使用の一眼「ゼンザプロニカ S 2」

新年会・同窓会 御予約承り中
料理3,000円より
鍋料理他 御希望により調理致します。
TEL 0267-62-6200
佐久市中込2-14-30

特に「ニコンF」は当時新品で手に入れるには、3〜4カ月待たされた。標準レンズ付き定価6万円位だったと記憶しています。また、コレクターはもとよりカメラ好きなマニアは必ず一台は手元にあるカメラだ。当時の機械式一眼レフは前記の「ペンタックス」、「ニコン」、「キヤノン」のほか「オリンパス（OMシリーズ）」、「ミノルタ（SRシリーズ）」、「コンタックス（RTSシリーズ）」等、当時あったメーカーのほとんどが製作して、各社各様工夫を凝らし数多くの一眼

レフを発売し、一眼レフ全盛時代を歩んだ。さて一眼レフに欠かせないものに交換レンズがある。各社シリーズ機や旗艦機には魚眼レンズから超望遠レンズまで数十本のレンズを揃え、プロやマニアに満足してもらえぬ製品をと、次々に高性能なレンズの開発をして奮闘を続けている。

一眼レフには35ミリ以外に120サイズのフィルムを使用する中判カメラもあった。大きなサイズのフィルムを使用するため、画質が一段と良くプロ用、ハイアマチア用に、

「オートフォーカス」の一眼レフをこぞって開発し発売にこぎつけ、しばらくの間低迷していた一眼レフが一大ブームを築いたのである。

愛するクラカメファンや、コレクターは「時代は変わった」といつても、なにか哀愁の念が漂ってくるようです。「高いデジタル一眼レフを使ってみただけ、やっぱり昔からある機械カメラの感触はいいよ」と。
今回を持ちまして「カメラ随想」は終了いたします。またの機会がございましたら自分コレクションのカメラについて筆したいと思います。お願いいたします。
あさひ堂カメラ 小須田修司

お得な飲み放題プラン
プラス2,000円 (2時間)
心ゆくまでお酒を楽しめるお得なプランです。
日本酒、ビール、焼酎、ジュース、ウーロン茶
10名様以上バス送迎無料
ホテル ナカゾマ



右が世界中で脚光をあびた「ニコンF」 左が日本で初期の一眼レフ「アサヒフレックス」

歴史を見ると、35ミリのロールフィルムを使用する以前に一眼レフは開発されたが、乾板のフィルムを使用していたようだ。(以前の詳しいことは省略)

また、ニコンのライバルであるキヤノンも最初の一眼レフ「キヤノンフレックス」以後1971年に「キヤノンF1」を発表して、両者がしのぎを削りつつ発展していくことになる。(次ページにつづく)

カメラ随想(五)「哀愁のクラシックカメラ」
カメラ随想いつもご愛読いただきありがとうございます。
256号に掲載しております。バックナンバーもご覧いただけます。
今回は、一眼レフ特集です。正式には一眼レフレックスカメラといい、読んで字のごとく一つの目、つまりレンズが一つのカメラです。カメラの内部にミラーボックスがあり、レンズからの像が

反射板でプリズムを通し直接ファインダーで見え、シャッターを切るとそのミラーが跳ね上がり後方にあるフィルム(デジタルカメラの場合は撮像素子)に像を感光させる構造になっています。また、レンズの交換ができません。そんな構造ゆえにレンズを交換し、焦点距離が変わってもそのままファインダーで、実際に写る像を確かめることが出来るのが最大の特徴です。欠点としてはミラーやプリズムがあるので、大きく重くなること、また撮影の瞬間(露光中)はミラーが上がるため像が消える等のことがある。

戦後の国内での一眼レフはというと、1954年に旭光学工業の「アサヒフレックスIIb」が出、さらに改良を重ねての「アサヒペンタックス」が開発された。1959年には一眼レフの最高傑作機である、名機「ニコンF」が発売された。ニコンFは頑強で信頼の置けるカメラとして、世界中にその名を広め報道用として、プロにも絶賛された。
また、ニコンのライバルであるキヤノンも最初の一眼レフ「キヤノンフレックス」以後1971年に「キヤノンF1」を発表して、両者がしのぎを削りつつ発展していくことになる。(次ページにつづく)

ピアノ買取りいたします
豊富な品揃えでご来店をお待ちしております
ピアノのことなら何でも相談に応じます
● 鍵盤タッチが重いピアノ軽くできます
● 変色したりヒビ割れた鍵盤の貼替えができます
● 黒ずんだペダルもピカピカによみがえります
などなど、いろいろなご要望にお応えします
中川ピアノ店 佐久市中込1-20-8 電話 62-4400
中川ピアノ調律研究所 佐久市平賀上宿4201 電話 62-9963
お客様の声 「タッチが軽くなり、とても長時間の練習ができるようになりました」

信州佐久 全うすだ鯉店
たとえば「特製うま煮」店頭には置いてありません。お客様ごとに私の手造りです。
「おふくろの味」とはいきませんが、一切れ一切れ心を込めてお作りします。ぜひ一度おためし下さい。
半日ほどあれば十分まにあいますので
お気軽にご注文ください。
特製うま煮 (税込) Mサイズ1切 450円
●お土産に(パック/箱入り) 5切入り 2350円 (税込) 10切入り 4650円 (税込)
※なん切れでもok!
1ぴき丸ごと姿焼き 1700円・2100円 2500円・2900円 3200円・3600円
佐久市中込1-24-1 AM8:00~PM7:00(水曜定休)
ホームページ http://nakagomi.jp/koi
Eメール koi@nakagomi.jp